

# 学校と企業・事業所・団体をつなぎ

# 子ども達と企業のミライを創造する。

日本一の  
教育都市を  
目指して!

## 下関学校支援プロジェクト「Sandwich」を立ち上げた背景

下関市の児童生徒数はピーク時と比較して、約40%と大幅に減少しています。1学校当たりの児童生徒数は減少し、学校の小規模化が進行しています。他の中核市と比較しても、少ない人数となっており、教頭や学校事務職員が未配置となるなど、教職員の減少に伴う教育環境への影響が懸念されます。

### 市立小学校

年度	児童数	学校数	1学校あたりの児童数
令和2年	12,067人	44校	274人
昭和56年	31,539人	52校	607人

### 市立中学校

年度	生徒数	学校数	1学校あたりの生徒数
令和2年	5,817人	22校	264人
昭和61年	15,629人	26校	601人

参考資料 『下関市立学校適正規模適正配置基本計画（第2期）』『山口県教育委員会 学校一覧（令和2年5月1日現在）』

今こそ、地域（企業・事業所・団体）が下関市の子ども達に手を差し伸べるときではないかと考えます。

## 下関学校支援プロジェクト「Sandwich」とは

一般社団法人下関青年会議所は下関市教育委員会協力のもと、市内全域の小・中学校にアンケート調査を執り行いました。アンケート内容は、地域（企業・事業所・団体）に求める要望で、学習支援・環境支援・安全支援・その他の項目に分け集約いたしました。結果300を超える要望がありました。傾向として、環境支援〔設備等の整備・補修修繕、草刈り、樹木の伐採・剪定〕を期待する声が多く、小学校ではこれに加え、学習支援〔職場体験、職場見学〕、登下校での見守り支援、中学校ではマナー講座、職場体験、職場見学が求められております。

すべての要望は【[下関学校支援プロジェクト Sandwichホームページ](#)】にて見る事ができます。これらを全て叶える事はできないかもしれませんが、身近な地域の学校にできる善意の一步が必要と感じております。下関学校支援プロジェクト Sandwichのホームページを作成することにより双方の（学校⇄企業・事業所・団体）の情報の一元化を図ります。

### プロジェクト内容（ミッション）といたしましては

- ① **企業・事業所・団体の賛同登録を募る**（企業・事業所・団体の名称を賛同ページに掲載しそれぞれのホームページへのリンクを貼らせていただきます。）
- ② **企業・事業所・団体として支援できる内容を募る**（例：工場見学、職場体験、学習支援、食育、登下校見守りなど）
- ③ **学校要望に応える**（達成した場合、ホームページにて紹介させていただきます。）

## 学校支援プロジェクトが成功したらどうなるの？

A. 学校側は、現状を学校支援プロジェクトのホームページを利用し、素早く地域に求める声を挙げる事ができます。また他校の動きも見えてくることから、積極的かつ能動的な活動が可能になってきます。

企業側は、このような学校支援などの社会貢献活動が、CSR（企業の社会的責任）を果たすことにつながると考えます。すべては今を生きる子ども達の明るい豊かなミライのために。我々ができる些細な事でも手を差し伸べる。それが一元化（学校支援プロジェクトホームページ）したものに積み重なっていくことで地域（企業・事業所・団体等）と学校とのコミュニティの構築が強固なものになっていくと考えます。願わくは、5年後・10年後、本プロジェクトを通して地域とのつながりを体験した子ども達が、その体験を機に地元の企業に夢と希望を抱いて就職する。そのようなミライを想像します。

